

高耐久性1液水性アクリルシリコン樹脂塗料

水性シリコンワークス

セラミック配合

水系

- 高耐候性
- 低汚染性
- 安全性
- 作業性



建築塗料の総合メーカー

 **スズカファイブ株式会社**

SUISEI SILICONE WORKS

SUZUKA

水性シリコンワークス

No.4

高耐久性1液水性アクリルシリコン樹脂塗料

スズカファイブ株式会社

水性シリコンワークス

● 特 長

1 高耐候性

紫外線抵抗性が強く、長期にわたって高光沢を保ちます。
また炭酸ガスや水の遮断性に優れ、建物の劣化を防ぎます。
(耐候形1種相当)

2 低汚染性

特殊自己架橋形樹脂により、
緻密で粘着のない塗膜は汚れが付き難く、
建物の美しさを保ちます。

3 優れた安全性

VOC (揮発性有機化合物) 成分をほとんど含みませんので、
安全性が高く、環境に優しい塗料です。

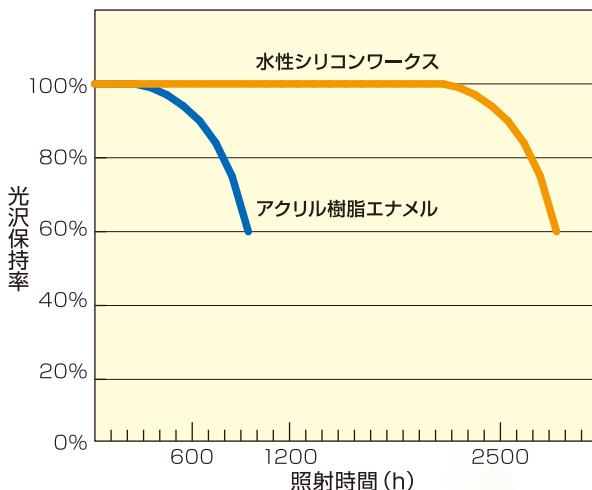
4 優れた塗装作業性、仕上がり性

高隠ぺいで、きめの細かい滑らかな肌と
優雅な光沢が得られます。

5 防かび・防藻性

微生物(かび・藻など)の発生を防ぎ、
美観を維持します。

■ 促進耐候性試験 (キセノンランプ法)



■ 塗膜性能

下塗材：リメイクフラ
上塗材：水性シリコンワークス

試験項目	試験結果	品質規格 (JIS A6909 可とう形改修塗材 E に準ずる)
低温安定性	合格	塊がなく組成物の分離・凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合格	ひび割れない。
付着強さ [N/mm ²]	標準状態	1.4 0.7 以上
	浸水後	1.0 0.5 以上
温冷繰返し	合格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性 B 法 [mL]	0.1	0.5 以下
耐衝撃性	合格	ひび割れ、剥がれ及び著しい変形がない。
ひび割れ充填性	合格	基板の溝の部分に、塗膜のひび割れ及び穴がない。
耐候性 A 法	合格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール 3 号以上とする。
可とう性	合格	ひび割れない。

共通色見本



↑A002



↑A005



↑A009



↑A010



↑A455



↑A401



↑A201



↑A303



↑A417



↑A204



↑A419



↑A428



↑A001



↑A602



↑A607



↑A420



↑A411



↑A320



↑A322



↑A370



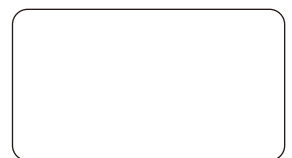
↑A350



↑A358



↑A359



↑A305



↑A500



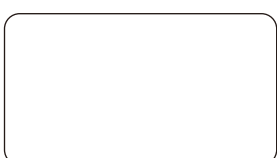
↑A403



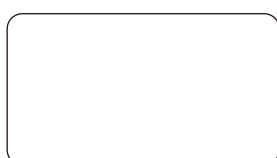
↑A470



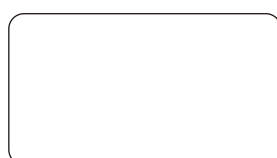
↑A471



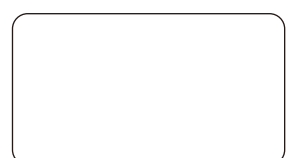
↑A352



↑A271



↑A272



↑A273



↑A013



↑A650



↑A652



↑A020

- お願い**
- 色見本は、紙に塗装していますので、実際の仕上がりとは、色・つやが多少異なります。ご了承ください。
 - 色によっては材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
 - 広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。

標準塗装仕様 外壁（コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード）

塗り替え塗装仕様

●既存塗膜のテクスチャーを活かす場合（活膜の既存塗膜を対象にしています）

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2	上塗り	水性シリコンワークス 清水	100 5~15	0.12~0.20	2	3h以上 最終養生 24h以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

※既存塗膜の劣化が著しい場合や吸い込みムラがある場合は、下塗りとしてサンプラ・サンプラホワイト・カチオンシーラーEPO・カチオンホワイトシーラーEPOなどを塗装してください。

●既存塗膜のテクスチャーを変える場合

工程	塗材	調合(重量比)	標準所要量(kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)	施工方法	
1	下地調整	●既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ●チョーキング・汚れ・じんあい・劣化塗膜などを高圧水洗で除去する。 ●水洗い面を十分に乾燥させる。 ●既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。					
2	下塗り	リメイクブラ 清水	100 1~3	0.8~1.5	1	8h以上	パターンローラー
3	上塗り	水性シリコンワークス 清水	100 5~15	0.12~0.20	2	3h以上 最終養生 24h以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

※下塗りには、リメイクブラRE・リメイクソフト・WBリメイク弾性フィラーEPO・WBリメイク弾性フィラーREも使用できます。

新設塗装仕様(平滑仕上げ)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法	
1	素地調整	●素地は、十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ●素地のレイトランス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材にて補修する。					
2	下塗り	サンプラ 清水	100 0~5	0.07~0.11	1	3h以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
3	上塗り	水性シリコンワークス 清水	100 5~15	0.12~0.20	2	3h以上 最終養生 24h以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

※下塗りには、サンプラホワイト・水性ビナクル・カチオンシーラーEPO・カチオンホワイトシーラーEPO・ワイドシーラーEPO・ワイド浸透シーラーEPO・ワイド浸透シーラーホワイト・ビナクルシーラー・ビナクルホワイト・ラフトンエポキシシーラー・ホワイトシーラーEPO・クリヤーシーラーEPOも使用できます。
注) 新設ALCパネル面は、スズカフラスコ等を塗り付け、平滑にしてください。

適応素地

コンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル・スレート板・窯業系サイディングボード・各種旧塗膜
(※フッ素樹脂及び無機塗料は除く)

適応部位

外壁・内壁

商品体系

商品名	色相	容量
水性シリコンワークス	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺 調色品(淡彩色 中彩色 濃彩色)	16kg 3kg(原色のみ)
水性シリコンワークス 7分つや	白 調色品(淡彩色 中彩色 濃彩色)	16kg
水性シリコンワークス 5分つや	白 調色品(淡彩色 中彩色 濃彩色)	16kg
水性シリコンワークス 3分つや	白 調色品(淡彩色 中彩色 濃彩色)	16kg

塗装上の注意事項

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 窯業系サイディングボード及びALCパネルのひび割れ、欠損などは、パネル製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。
- コンクリート及びモルタル素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたはラフトンカチオンSCフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かはんし、均一にしてから塗装してください。
- うすめずきは、たるみ、腫れなど、つや不良などを生じますので注意してください。
- たれ、塗り残しなどがないように均一に塗装してください。
- つや調整剤は、被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なる場合があるため、塗装は行わないでください。やむをえず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は2回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- 塗装面とプラスチックなど可塑性を含むものと接触する箇所には塗装しないでください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- この見本帳に記載以外の素地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防護マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋、前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るが、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記場所の保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。
●捨て際には、産業廃棄物として処分してください。

注) ①建物の構造、塗装部位(雨のかかりが少ない面、汚れが多量に集まる面など)によっては低汚染効果が発揮されないことがありますのでご了承ください。
②各製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読み頂き、正しく安全にご使用ください。また、製品の詳細な内容が必要な時には、安全データシート(SDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-2555
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店